

# あみ防災だより

## 阿見町地震対応訓練を実施しました

令和6年11月5日(火)午前10時、町民全員を対象に、阿見町地震対応訓練を実施しました。



なぜ阿見町地震対応訓練を実施したの？

地震発生時の初動対応を想定した訓練を行うことで、実際の災害に備えるとともに、町民の方と町職員が一体となって訓練を行うことにより、阿見町全体の防災意識の高揚を図るために実施しました。



どのような訓練を実施したの？

阿見町地震対応訓練では、令和6年11月5日(火)午前10時に、茨城県南部を震源とするマグニチュード7.3の地震が発生し、阿見町内で「震度6弱」の揺れを観測したことを想定として、訓練を実施しました。

午前10時に防災行政無線から流れる緊急地震速報の音声を聞いたら、机の下に潜るなどして身を守る「シェイクアウト訓練」、揺れが収まったら屋外に避難し、自身の安全を確保する「屋外避難訓練」、安全を確保した後、玄関先や郵便ポストなどにタオルを掲げて、周囲に無事を知らせる「タオル掛け訓練」、区長や班長、役員などが各ご家庭を周り、タオルを確認する「安否確認訓練」を実施しました。

### 町内の訓練の様子



レイクサイドタウンと二区北を紹介します！



【写真左】  
無事を報告  
(レイクサイド  
タウン)

【写真右】  
初期消火訓練の様  
子(レイクサイド  
タウン)



【写真左】  
事前打ち合わせ  
の様子(二区北)



【写真右】  
各ご家庭を周り、  
安否確認を実施  
(二区北)



町職員も役場庁舎内で地震対応訓練を実施しました！訓練の様子を紹介します！



【写真上】  
シェイクアウト訓練



【写真上】  
車いすの介添え誘導訓練



【写真上】  
多目的消防車を使用した救出訓練



【写真上】  
町長訓示の様子

# 中央北 防災訓練

令和6年10月6日(日)中央北自治会館及び阿見小学校にて、防災訓練を実施しました。救急訓練では、胸骨圧迫及び AED の取り扱い訓練を実施し、特に AED については多くの質問があがり、住民の方々に意識を高め合いました。また、非常用貯水槽の取り扱い訓練では、非常用貯水槽にホースをつなぎ、手押しポンプから手動で水を出す方法と蛇口から自動で水を出す方法の2通りを実施しました。訓練の中で、実際に出した水は、事務局を含め数名の方に試飲してもらいました。

中央北の糸賀区長は、「いざというときに皆で使えるように、中央北だけでなく、他の地区の方にも取り扱い方法を知ってほしい。」と述べました。

非常用貯水槽は町内で唯一阿見小学校にあり、常時タンクに上水道が流れていますが、災害時は弁によって仕切られ、貯水槽となり、ご家庭の水と同じく飲料水として取り出すことができます。



【写真上】

救急訓練（胸骨圧迫・AED 取り扱い）



【写真上】

非常用貯水槽の取扱い訓練



## 富士団地

## 防災訓練

令和6年11月3日(日)富士団地内にて、防災訓練を実施しました。3日(日)午前9時00分、茨城県南部を震源とするマグニチュード7.3の地震が発生し、阿見町内で震度6強が発生したことを想定し、無事であることを知らせるタオルを玄関や郵便ポストに掛ける『安否確認』や班長が各住宅を周り、タオルを確認して評議員に報告、その後トランシーバーを活用して、地区災害対策本部(富士団地公会堂)へ報告する『情報伝達』など実施しました。訓練の中で、地震による被害の状況を7か所設定(看板で表示)し、そのうちの2か所は、「倒れた自動販売機の下敷きになっている」、「火災が発生している」の状況を付与し、初動対応を行いました。

また、富士団地公会堂にて炊き出し訓練、稲敷広域消防本部職員協力のもと、三角巾による包帯法、担架作成・搬送要領、水消火器を使用した初期消火訓練を実施しました。

富士団地の防災訓練を見学した区長さんは、「地区の特性が異なるが、この訓練を参考にして、自分の地区にも取り入れていきたい。」と述べました。



【写真左】

負傷者を発見し、声掛けをする様子



【写真右】

負傷者を搬送する様子



【写真左】

火災を発見し、初期消火する様子